

編集後記

大学教員にとって、授業評価は気になるものの一つである。私の勤務する大学でも、非公式ながら、理系の1,2年生向け基礎科目に対して学生へのアンケートがとられた。授業の難易度、準備の程度や講義にかける熱意、並行している他教官の授業との比較などかなり詳細なものである。私の担当授業も調査対象である。これは、電磁気学や流体力学の基礎を教えるとともに、学生に自然現象を「場」の観点から理解させようという目論見がある。このような科目の性質上、どうしてもベクトル解析や偏微分を使わざるを得ない。実際、div や rot の記号が出てきたり、体積積分を面積分に変換するなどといわれると、学生はかなり難解なものに感じるようである。正直なところ、授業をする側の私も、改めて勉強し直してその奥の深さを実感している。アンケートの結果は、私の授業はすばらしいというわけではないが、及第点は取ったようでほっとしている。ところで、授業評価の目的は第一義的には、大学の商品である授業の品質を高めるこ

とである。一方、これまで大学教員は学生を評価することはあっても、学生の評価にさらされることはなかった。授業評価は、他を評価するものは自らがそれに値するだけのものを持っているかを問うている。また、この授業評価は、善意の思いこみの危険性と第三者的視点の重要性も教えてくれる。授業準備は大変であるが、一面で楽しい。私の担当授業はカリキュラムの大幅改定の一環として構想されたものである。そのため、授業準備に力が入り、学生にはこれだけのことは知っておいてもらいたい、この程度は理解できるだろうとの（善意ではあるが、学生にとっては迷惑な）思い込みに陥る可能性がある。自分では十分検討したつもりでも、独りよがりになっているかも知れない。これを防止してくれるものの一つが第三者的視点である。この意味でも、授業評価は確かに意義がある。それにしても、アンケートでむずかしいという前に、授業中手を挙げて質問しろよ。

(斉藤輝雄)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	井上 信幸	副 会 長	伊藤 智之	佐藤 徳芳	常務理事	上村 欽雄(総務委員長)
理 事	安積 正史(プログラム委員長)	井岡 茂	岡崎 隆司(財務委員長)	小川 雄一(編集委員長)		
	門田 清	河合 良信(出版委員長)	香山 晃	西原 功修		
	日野 友明(企画委員長)	藤原 正巳	松井 秀樹	松田慎三郎		
	谷津 潔	矢部 孝(広告委員長)				
監 事	西田 靖	山中 芳宣				

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 小川雄一(東大高温プラ)
エディター 岡本正雄(核融合研), 菅井秀郎(名大工), 関 昌弘(原研), 田中雅慶(核融合研), 西村博明(阪大レーザー研)
編集委員 赤石憲也(核融合研), 安藤 晃(東北大工), 伊藤智之(九大応力研), 大館 暁(核融合研), 奥野健二(静大理), 門田 清(名大工), 久保 伸(核融合研), 香山 晃(京大エネ研), 後藤純孝(日立), 近藤克己(京大エネ科), 斉藤輝雄(筑波大), 坂上裕之(核融合研), 坂本瑞樹(九大応力研), 白井 浩(原研), 新谷吉郎(東芝), 関根重幸(NEDO), 高橋 努(日大理工), 高部英明(阪大レーザー研), 西原功修(阪大レーザー研), 樋田美栄子(名大理), 藤堂 泰(核融合研), 中村圭二(中部大工), 長谷川 満(三菱), 羽鳥尹承(神奈川大理), 福本直之(姫路工大), 政宗貞男(京都工繊大), 升方勝己(富山大工), 松嶋 功(電総研), 横山雅之(核融合研), 吉村信次(核融合研), 米田仁紀(電通大レーザー研), 渡辺隆行(東工大原子炉研)

プラズマ・核融合学会誌第77巻第3号

編集・発行

〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目20-20 7階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-231-4535 Fax. 052-231-7557

E-mail: jspf@nifs.ac.jp URL: http://jspf.nifs.ac.jp/

印刷 株式会社荒川印刷

2001年(平成13年)3月25日

定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について

当学会誌の編集委員会は原則として、毎月、第1火曜日に開かれています。但し、第1火曜日が休日あるいは5日以降の場合はその前週の火曜日に開かれます。